

ゆい
結 な が れ や ま

Vol.14
2016.3

私らしく あなたらしく



目次

- P2, 3 特集：あらゆる世代の人々が楽しめるヘルスバレーボール
- P2 男女共同参画講座レポート
- P3 流山でがんばるひと見つけた！：流山女性聞き書きの会みらい
- P4 情報コーナー

結とは…昔、農村の人々は手を貸しあうことを「結」と呼びました。
また友達や友愛を意味する言葉でもあります。



ヘルスパレーボール って知っていますか？

どんな世代も気軽に楽しめる流山市発祥のスポーツをもっと広めよう！

ヘルスパレーボールは、昭和53年に流山市で考案された、性別を問わずあらゆる世代の人々が楽しめるスポーツです。使用するのはラグビーボールのような形をした『ヘルスポール』。このボールの予測不能な動きがゲームを面白くします。市内の強豪チーム、AQUA（アクア）の皆さんにお話をうかがいました。



家事を済ませて夫婦で参加

チーム発足は11年前。幼稚園にお子さんを通わせていたママ仲間24、5名で始めたそうです。始めはみんな「ヘルスパレーって何？」状態でしたが、楽しくワイワイ練習を続け、今では大会上位の強いチームに成長しました。現在のメンバーは21名（3名は休部中）で、ほとんどが発足当時からメンバー。女性だけのチームでしたがメンバーの男性家族も加わり、女性チームと混合チームの3チームとなりました。

練習は、南流山福祉会館の他、生涯学習センターや総合運動公園体育館などで行っていて、時には他のチームと合同練習もします。今では多くのメンバーが仕事をしていますが、水曜日は練習を優先する働き方をしているとか。

水曜日の練習に夫婦で参加していた水谷さんは、「仕事が休みの水曜日は必ず練習に参加しています。そのため、家事も一緒に行っています。」と、話してくれました。



日曜日の練習に夫婦で参加しているメンバーは、協力して家事をすませて練習に参加します。夫に子どもをまかせて参加しているメンバーもいますが、お子さんを連れての練習参加者も。メンバーが順番でお子さんの面倒を見てくれるそうです。今ではお子さん連れは一組ですが、かつてはみんな子連れで練習に参加しており、最初の頃は子どもだらけでした。子ども同士も楽しく遊んでいて、今でもみんな仲良し。大きい子は小さい子の面倒を見てくれるそうです。



実施講座レポート 私のステップUP講座（公開講座） 女性のチカラを地域のチカラに

平成27年10月31日（土）、私のステップUP講座（公開講座）「女性のチカラを地域のチカラに」を生涯学習センターで開催しました。



女性のスキルアップを図ることを目的に、10月15日（木）から連続講座として開催した講座の一環で、公開講座として開催したものです。

講師は、船橋邦子さん（元和光大学教授）です。当日着ていた赤色の服は、男性社会へのレッドカードの意味。また、赤は人を元気にする色なので、講演を行う時は赤色の服にするそうです。

講演では、世界経済フォーラムが公表したジェンダーギャップ指数（男女平等指数）で日本は142カ国中104位であることをあげ、「女性は、無償労働（家事・育児・介護）の9割を負担しているが、政策決定の場への女性の参画は少なく、非正規雇用の7割が女性であり、働く女性の6割が非正規雇用である。このため、女性の経済的地位が低く、男女の賃金格差が生じている。単身世帯が増加傾向にある現在、一人になっても安心して暮らせる社会を作ることが重要である。そのために必要なのは、政策の主体となる強いリーダーではなく、人権と多様性を尊重したやさしいリーダーである。」と、お話しいただきました。参加した男性は、「男性ももっとこのような講座に参加し、意識も変えなければいけないと感じた。」と、話してくれました。



朝9時からの練習の日は大変ではないか聞いたところ、「9時集合に間に合うように家事をします。午後からの練習の時のほうが午前中ならだらしでしよう。」という頼もしい答えから、「まだ幼稚園に通わせているのできついです。」「坂井さんは子どもをパジャマのまま連れてくる時もあるよね。」という暴露(?)まで様々でした。長続きの秘訣は、みんなで楽しく練習をすること。練習後のランチタイムも楽しい時間だそうです。

ヘルスパレーボールをすると…

ボールはラグビーボールのようにどこに飛ぶかわからないけれど、落下速度が遅くラリーが続きます。みんなで、1・2・3・・・と回数を数えながら相手コートに返すので、コミュニケーションがうまく、チームワークも深まります。体力もつくスポーツです。ヘルスパレーボールの試合を見ていると、まるで飛行船が行ったり来たりしているよう。大きなボールは軽く、触った感じはとても気持ち良いです。

現在、流山市内だけでも約180のチームがあり、日本ヘルスパレーボール連盟主催の大会は、リーグ戦、春季大会、女子大会などがあります。第8回リーグ戦の優勝は、AQUAでした。大会に関心のある方は、日本ヘルスパレーボール連盟のHPを見て下さい。連盟の木村会長は、「世代を越えて、気軽に『いつでも・どこでも・だれとでも・いつまでも』楽しめるスポーツです。性別や年齢、障がいの有無などに関係なく、すべての人々にヘルスパレーボールを楽しんで欲しいですね。」と語ってくれました。

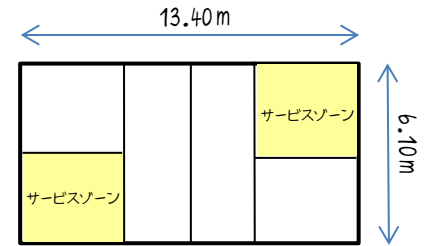


NPO法人おたかスポーツコミュニティ流山 <http://osc-nagareyama.com/> では、毎週月曜日夜7時から体験教室（1回200円）を生涯学習センターで開催しています。1名での参加も可能なので、ぜひ参加してみてください。

ヘルスパレーボールとは？

ボールの形状は楕円形で、長径が約90cm、短径が約50cm。空気で膨らませたビニールボールを布で覆っています。

1チーム4人から6人で、対戦相手と人数を合わせる必要はないが、男性は1チーム3人までしか加われない。相手コートにボールを投げ入れ、2回から5回で相手コートに戻します。コートはバドミントンのダブルス用コートと同じ大きさです。



※公式ルールは、日本ヘルスパレーボール連盟のHPを見て下さい。

<http://jhvf2012.main.jp/>

ミニ情報

- ◆ヘルスパレーボールを体験したい方には、用具の貸し出しを生涯学習課（04-7150-6106）で行っています。
- ◆YouTubeにヘルスパレーボールの映像が沢山あるのでぜひ見て実感してください。

流山で がんばるひと 見つけた！

「流山女性聞き書きの会みらい」



「流山女性聞き書きの会みらい」は、平成24年3月に開催された講座「聞き書きを学ぼう」の参加者で、「学んだことを地域に還元しよう」という公民館の呼びかけに賛同した有志の方々です。市内のおばあちゃんに話を聞いて、戦中戦後の女性がどんな思いで生きてきたのか、どんな暮らしをしていたのかを語ってもらう活動を開始して4年。現在の会員は8人で、活動当初からの人は5人です。平成25年に「聞き書き おばあちゃんの昔ばなし」を発行し、現在5冊目「聞き書き 流山の記憶私はそうやって生きてきた」を3月発行に向けて編集中。冊子は、市内の公民館や図書館で読むことができます。

聞き書きで残す流山の女性史

編集会議におじゃまして、メンバーの木津陽子さんに活動を始めたきっかけややりがいなどを聞きました。

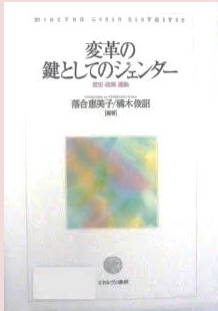


「自分のおばあちゃんが亡くなったときに、『昔の話を聞いておけばよかった。』と思ったことが、活動のきっかけです。戦中戦後の話を聞いて、語ってくれた人の言葉を文章にするのがとても大変だけど、活字でしか知らなかったことを、その時代の生の話として聞いて感動しました。ガスや電気、水道のなかった時代、自宅に井戸が無い人は、水汲みに行ったとか、物のない時代を生きてきた人の苦労話を聞くと、自分の悩みが小さく思えました。話を聞くだけで生きるエネルギーがもらえます。出来上がった冊子をお持ちした時の喜んでくれたお顔が忘れられません。」



男女共同参画の視点から、注目の本を紹介します。

流山市立図書館
で借りられます



変革の鍵としてのジェンダー
歴史・政策・運動

落合恵美子／橋木俊詔 著
ミネルヴァ書房

歴史的転換の節目で、家族観やジェンダー観は、新しい社会秩序形成にいかに関わってきたのか。欧米社会と日本を対比して、現代日本社会の変革という課題にジェンダー視点から提言を行う。



高卒女性の12年
不安定な労働、ゆるやかなつながり

杉田麻衣 著
大月書店

高校3年から30歳まで、ノンエリート女性たちはどのような関係と環境の中で働き、暮らしてきたのか。女性たちの歩みを、何度も重ねたインタビューから丁寧に紹介・分析する。



アメリカに女性大統領は誕生するか

蓮見博昭 著
日本評論社

米国史の中で女性がどのような立場に置かれてきたかを考察しながら、次期米国大統領選挙最有力候補であるヒラリー・クリントンへの期待と課題を語る。

平成28年度 講座スケジュール(予定)

開催日時	講座名	講座内容	
5月	10日(火)～(全5回)	ワタシへのごほうび講座 (会場:南流山センター)	自分の能力を発揮して社会参画できるようエンパワーメントを支援する講座です。
	26日(木)	情報紙編集講座 講座を学んで実践へ (会場:中央公民館)	編集のプロに情報紙作りの基本を学ぶ講座です。
6月	26日(日)	女性と男性のライフデザイン ～働く・結婚・子育て～ (会場:生涯学習センター)	少子、高齢化社会が進む中、これからのライフデザインを考えます。
7月	2日・9日(土)	ワタシのカラダとココロは自分で守る (会場:南流山センター)	いざという時に自分の身を守ることができるように、危険から逃れる技を学びます。
9月	8日(木)～(全5回)	女性のキャリア支援講座 (会場:南流山センター)	新しい一歩を踏み出すために、自分の強みについて考える講座です。
10月	14日(金)	私のステップUP講座 (会場:南流山センター)	女性リーダーとしてのスキル向上を図る講座です。
	20日(木)	メディアと女性～TVドラマ・CMに見える女性像～ (会場:南流山センター)	TVドラマやCMに見られる男性像、女性像からジェンダーを考えます。
11月	20日(日)～(全3回)	ながれやまバASKール～父親であることを楽しもう～ (会場:生涯学習センター)	子どもとのスキンシップや遊びを楽しみ、夫婦のあり方について考えます。

※講座名、内容については、予定のため変更となる場合があります。

男女共同参画社会をめざす情報紙

結ながれやま vol.14

編集発行:流山市 総合政策部 企画政策課 男女共同参画室

〒270-0192 流山市平和台 1-1-1

TEL:04-7150-6064 FAX:04-7150-0111

Email:danjokyoudou@city.nagareyama.chiba.jp

◎記事に関する、ご意見・ご感想をお待ちしております。

秘密厳守!
相談無料

DV相談窓口

■流山市役所 子ども家庭課(第2庁舎1階)
月～金(祝日・年末年始を除く)
8:30～17:00 04-7150-6082

■千葉県女性サポートセンター
365日24時間 043-206-8002

■千葉県男女共同参画センター
火～日 9:30～16:00 04-7140-8605 (女性)
火・水 16:00～20:00 043-285-0231 (男性)

■県警察本部サポートセンター
月～金(祝日・振替休日を除く)
8:30～17:15 043-227-9110

■近隣の健康福祉センター(保健所)
松戸 047-361-6651
野田 04-7124-6677



女性に対する暴力根絶のためのシンボルマーク

編集後記

かねてから取材をしたかったヘルスパレーボールチーム。イキイキとした姿に元気をもらいました。次回も楽しい内容で作りますので、楽しみに待っていてください。

三條

スポーツを通じて男女共同参画を考えてみました。結を見てヘルスパレーボールをやる人が増えると嬉しいです。

柳橋

「結ながれやま 私らしくあなたらしく」の編集員を募集しています。一緒に楽しく情報紙を作りませんか。ご興味のある方はメールまたは電話にて男女共同参画室までご連絡ください。お待ちしております。